

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	第78回日本消化器外科学会総会発表演題「鼠経ヘルニアのヘルニア門を標本摘ルートとした腹腔鏡下結腸切除術」
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	西村 淳
2016年から2019年の間に施行された4例	
③概要	<p>大腸癌症例が鼠経ヘルニアに併存することがしばしば経験する。今回、外鼠経ヘルニアが併存した結腸癌の4症例に対して、腹腔鏡下に切除した標本を計画的にヘルニア門から摘出したので報告する。手技の概要：ヘルニア門を腹腔アクセスデバイス（GelPOINTMini®）で保護した上で気腹し、切除操作を行った。創の汚染に注意しながらヘルニア門から標本を摘出した。左側結腸癌では double stapling technique、右側結腸癌では機能的端端吻合で再建した。ヘルニア門からガーゼやリニアステイプラーを挿入することで、腹壁ポートを3mmあるいは5mmに縮小することができた。鼠経ヘルニアはメッシュを使用して修復した。4例とも、術後合併症はなく5~6病日に退院した。Numeric rating scale（0~10点）で疼痛を評価し、最悪値は2点と鎮痛効果は良好であった。術後観察期間は3~6年で、現在まで腫瘍およびヘルニアの再発を認めていない。</p>
④申請番号	578号
⑤研究の目的・意義	同様の報告は検索しうる限り一例のみであり、われわれの短・長期成績を発表する価値が高いと考えた。
⑥研究期間	2016年から2019年
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	日本消化器外科学会総会ホームページ
⑧利用または提供する情報の項目	血液 画像 病理 臨床記録
⑨利用の範囲	長岡中央総合病院 外科部長 西村淳
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 外科部長 西村淳
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	<p>長岡中央総合病院 外科 西村淳 〒940-8653 新潟県長岡市川崎町2041番地 TEL0258-35-3700</p>